



『バーナムの骨』

トレイシー・E. ファーン/文 ボリス・クリコフ/絵
片岡 しのぶ/訳 (光村教育図書)



世界でもっとも有名な恐竜、ティラノサウルスの化石を発掘したバーナム・ブラウン。「ゆくゆくは、ずばぬけて立派なことをして、みんなをびっくりさせるんだよ」両親に託された夢を見事に実現するまでを描くノンフィクション。

『ねこのシジミ』

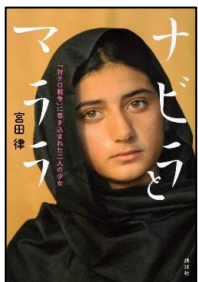
和田 誠/作 (ほるぷ出版)



公園に捨てられていたあかんのぼうのねこが、通りかかった男の子に拾われ、家族の一員として暮らしている様子をねこの視点から描く。繊細な銅版画とあたたかい文章で展開するほのぼの絵本。

『ナビラとマララ』

宮田 律/著 (講談社)



「対テロ戦争」の犠牲者でありながら、ひとりにはノーベル賞を受賞し、ひとりは無名のままです。この彼女たちの違いを知ること、欧米諸国が生み出したイスラム世界への偏見や矛盾が見えてきます。現代イスラム研究の第一人者が、大きく境遇が違ってしまった二人の少女の背景について、わかりやすく解説します。*

『あきらめないことにしたの』

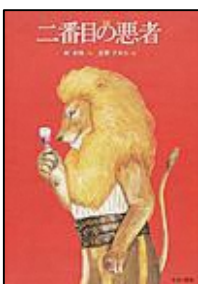
堀米 薫/作 (新日本出版社)



福島県飯舘村で農業をしていた渡邊とみ子さん。皆で、新しいもとかぼちゃを世に出そうと頑張っていたとき、東日本大震災が発生しました。とみ子さんが震災の混乱の中をどう生き、震災にどう向き合っていたかを伝えます。

『二番目の悪者』

林 木林/作 庄野 ナホコ/絵 (小さい書房)



これが全て、作り話だと言い切れるだろうか。金色のたてがみを持つ金のライオンは王様になりたかった。だが、街外れに住む心のやさしい銀のライオンが、次の王様候補だという噂を聞き、銀のライオンの悪い噂を広めて歩き…。

『小やぎのかんむり』

市川 朔久子/著 (講談社)



夏芽は、中高一貫校に通う中学3年生。親との確執を抱える夏芽が飛びこんだのは、小さな山寺でのちょっと不思議なサマーキャンプだった！人のやさしさを知る、感動作。*

『瀬戸内海賊物語』

大森 研一/原案 黒田 晶/著 (新静山社)



瀬戸内海に浮かぶ小さな島、鈴鳴島。自分の意志とは関係なく流れていく日常に、無気力になっていた冬樹の心を揺り起こしたのは、村上武吉を先祖にもつ少女、楓との出会いだった。2014年5月公開映画のアナザーストーリー

『Q→A』

草野 たき/著 (講談社)



野崎朝子とそのクラスメイトが、それぞれ学校や塾のアンケートに答えていくことで、自分のほんとうの気持ちに気づいていきます。*



『走る少女』

佐野 久子/作 杉田 比呂美/絵 (岩崎書店)



イチニツイテ。比呂はラインギリギリに両手をついて、地面の一点を見つめる。ざわめきが遠のいていく。ブロックにかけた両脚が熱くなってきた。秋空に号砲が鳴った…。さわやかな陸上選手群像を描く。

『チポロ』

菅野 雪虫/著 (講談社)



チポロは、北のさいはての港町・ノカピラに、触れたものを瞬時に凍らせ、貧しき人々に食糧を届けてくれる「魔女」と呼ばれる少女が現れたことを商人から伝え聞いた。その少女にイレシュの痕跡を見つけたチポロは、弓の修業を積んだ末、「魔女」がイレシュではないか確かめるため、そして魔物からイレシュを奪還するため、ミソサザイの神とともに、ノカピラを目指すのだった—。*

『狐霊の檻』

廣嶋 玲子/作 マタジロウ/絵 (小峰書店)



富と権力をほしいままにする阿豪家に囚われた狐霊「あぐりこ」。あぐりこを逃がすため、少女は命をかけて阿豪家に立ち向かい…。妖しくもせつない少女たちの物語。

『おなやみ相談部』

みうら かれん/著 十々夜/絵 (講談社)



中1の八枝は、「環境部」というよくわからない部活に入ることになってしまった。部員は1人なので、中1なのに部長。環境部は「校内の環境をよくする部活」ということで、いろんな人の悩みを聞くことに。「関西人になりたい」など、八枝に寄せられる思いがけない悩みの数々を解決できるのか？そして環境部の部員は増えるのか??*

『ぼくのとなりにきみ』

小嶋 陽太郎/著 (ポプラ社)



仲よし中1男子コンビのサクとハセは、夏休みの最終日、町の古墳へ冒険に出た。拾った謎の暗号の解説にいそしんでいると、近田さんが割り込んできて、暗号調査隊に加わり…。『朝日中高生新聞』連載を加筆・改題し単行本化。

『クラスメイツ』(前期・後期)

森 絵都/著 (偕成社)



中学生になったら、変わりたいって、思ってたんだー。1年A組24人のクラスメイトたちそれぞれを主人公に、1年間を通して変化していく関係や、つみかさなる思いを描く、中学生群像ストーリー。

『ぼくたちの相棒』

ケイト・バンクス/著 ルパート・シールドレイク/著
千葉 茂樹/訳 (あすなろ書房)



犬は、飼い主の帰る時間を知っている?! 愛犬のふしぎな力を証明するため、レスターとジョージは実験にチャレンジ! ふたりの少年と2匹の犬がくりひろげる「特別な絆」の物語。

貸し出し中の本は
予約も出来ます。
詳しくは職員に
お尋ねください。

